

## 第 466 回 役 員 会 議 事 録

日 時： 令和元年 7 月 29 日（月） 11：35～12：20

場 所： 特別応接室

出席者：

久保総長      丸野理事      井上理事      荒殿理事      安浦理事  
若山理事      石橋理事      内藤理事      山縣理事

欠席者：

- 1 次期芸術工学研究院長・芸術工学府長・芸術工学部長候補者の選考について  
部局教授会から推薦された次期部局長の選考に係る候補者について、所信を聴取した上で審議を行った結果、当該候補者について下記のとおり次期芸術工学研究院長・芸術工学府長・芸術工学部長候補者として選定することを議決した。

職名：芸術工学研究院 教授

氏名：谷 正和（たに まさかず）

任期：令和元年10月1日～令和3年9月30日（再任）

なお、審議に際し、以下のような意見交換があった。

- ・人間環境学府の建築との関係についてはどう考えているのか。  
→人間環境学府長と話しているが、具体的なところまでは至っていない。
- ・工学系の6年一貫教育との関係も考えていかなければならないが、そういった話は人間環境学府長とされているのか。  
→芸術工学部としては JABEE の6年一貫教育を考えており、建築学科との共同授業から始めてはどうかという話もあったが、尻すぼみになっている。
- ・未来デザイン学センターと教育組織との関係性はどう考えているか。  
→デザイン系大学連絡会議、SDGs デザインユニットの活動等、センターの国際化いう意味では進展している。自身がメンバーではあるが、運営にはあまり関わっていないので、整理が必要だと考えている。
- ・学内共同教育研究センターの運営委員会には、最も関連する部局長又は当該部局長の長が指名する者を構成員に加えることになっているので、しっかりとセンター運営にも携わるようにしていただきたい。
- ・伊都にもギャラリーやバリアフリーアートの展示スペースがあるので、卒業生の作品を展示する企画を考えていただきたい。

- 2 史跡指定に係る同意について

史跡指定に係る同意について説明があり、審議の結果、これを議決した。

- 3 職員の懲戒処分に係る不服申立審査について

<非掲載>

(以 上)